

時間割コード	G1D11225	開講年度	2026			
授業題目	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ (A)(中級)				担当教員	藤原 隆史
英文授業名	Academic English Phase (A)					
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・2時限	対象学生
講義室	共通教育401 演習室		授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	大学DP					
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	上述の目標を達成するために、Academic Reading及びAcademic Writingの演習を行う。 ・Academic Reading: 習得したアカデミックレベルの語彙・文法・構文を基に、学術的な英文を読解する。 ・Academic Writing: 文法・語法、コロケーションの演習、アカデミックレベルの語彙の確認、自然な英語表現を身につける演習を行いながら、1ないし複数のパラグラフから成る説得力のある英文を作成する。					
(5)授業のキーワード	Academic Reading Academic Writing Natural Expression					
(6)授業計画	毎回の授業においては、パラグラフィティングの基礎演習も行う。その他の詳細、また、変更等が生じた場合についてはe-ALPSを通して連絡する。 1. ガイダンス・シラバスの確認など 2. パラグラフの特徴・トピックの特定 3. トピックとメインアイデアの特定・トピックセンテンスの強弱 4. and, butを用いて文を書く・and, butを用いる際のパンクチュエーション 5. パラグラフのトピックの詳細を説明する・アイディアリストを用いたブレンストーミング 6. 形容詞を含む文をand, butで接続する方法・場所について説明するパラグラフを書く 7. ワードマップを用いたブレンストーミング・結論文の書き方・人物についての説明 8. フリーライティングを用いたブレンストーミング・パラグラフの構成の仕方・ピアレビューのやり方 9. 意見と事実の区別・意見と具体例の区別・ディスカッションを用いたブレンストーミング 10. 因果関係を説明する・so, becauseを用いて文を接続する・ワードマップとフリーライティングの練習 11. 個人的な感情を表現する・アイディアと支持文の論理的な配列 12. 時間的関係を表すafter, before, when・物語の主要部分の特定・出来事の論理的な配列 13. ダブルリストを用いたブレンストーミング・対比関係を表すhowever, whereas・比較、対照のパラグラフ構成・状況や出来事の対比 14. 因果関係についてのパラグラフ・ペアインタビューを用いたブレンストーミング・疑問文から始まるパラグラフ 15. 将来の夢や希望についてのパラグラフを書く・ブレンストーミング法の復習と授業アンケート 16. 学期末考査					
(7)成績評価の方法	・Academic Reading/Academic Writingに関する授業期間中の習熟度を測る課題（Put it togetherへの解答含む）(60%) ・期末テスト(40%) この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数に満たない場合は、成績評価の対象外とし、評点は0点となります。					
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」とみなす。					
(9)事前事後学習の内容	この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 具体的には以下の通りです。 各Unitの最後にあるPut it together（英作問題）をeAlps上で提出。（1時間）					
(10)履修上の注意	授業への積極的な参加と定期的に出題される課題への意欲的な取り組みが必要です。 また、授業外の時間に、なるべく多く英語にふれる機会をつくるようにしてください。					
(11)質問、相談への対応	メールにて対応します。 takafuji@shinshu-u.ac.jp					
(12)授業への出席	全ての回に出席することを基本とします。この授業の達成目標に到達するためには12回以上の出席が必要です。					

(12)授業への出席	「出席停止」に該当する際は、その旨の申請があり、指示された学修の補充に取り組んだ場合は成績評価の対象とします。 (申請については、翌授業日までに学修の補充に取り組むことを考慮し、基本的に「授業日を含めて4日目まで」とする。)
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断された場合は、健康安全センターからのメールを教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください。 ・「学修の補充の対象とする事由」により出席できず、補充を希望する場合は、『共通教育履修案内』に掲載されている方法により、共通教育窓口で申請してください。(この場合は、出席扱いにはなりません。)
【教科書】	Dorothy E. Zemach, Carlos Islam著, 大塚崇史他訳, The Essentials of Paragraph-Writing パラグラフライティングの真髄, ISBN: 978-1-380-02035-2, 宥座の書, 2017
【参考書】	必要に応じて授業中に指示します。